

	題	小題	綴	年
1	挫折いくたび —40歳前後の思い出—	風呂の唄(1980)/裏長屋の唄(1982)/小診療所にて(1982)/夜警物語(1983)	○	
2	戦争を知らない若い人たちへ —1980年代の日本の平和を考える—	沖縄決戦と映画「ひめゆりの塔」(1982) 鎮魂・戦艦「大和」(1983)	○	
3	ヴェトナム民主主義への期待			1982/
4	親ばか物語			1982/
5	竹風亭随想(武蔵野、竹の風)			1983/
6	中国の旅(1) はるかなる長安の都—古都西安点描—		○	1988/
7	中国の旅(2) 中国シルクロードをゆく—敦煌・陽関の旅—		○	1989/
8	中国の旅(3) 紫禁城と映画「ラスト・エンペラー」—戦争責任を考える—		○	1988/
9	小説 炎の夜	*羽鳥圭亮	○	1990/
10	小説 幻影を追って		○	1990/
11	小説 花冷え		○	1990/
12	スターリン型社会主義の崩壊とゴルバチョフのペレストロイカ			1990/
13	みちのく随想	最上川舟歌(1991)/紅花亭保雛(1992)/出羽三山と修験道(1993)/独断的な私の東北文化論(1993)/ブナの林を行く(1994)	○	
14	東北六県の県民性		○	1994/5
15	あこがれの最上川		○	1991/1997
16	ゴッホの愛した江戸文化/李白と杜甫/丹後半島をゆく		○	1990,1998
17	小野小町伝説		○	2000/7
18	小説 水の音		○	1988/5改 2001/5
19	戊辰戦争と会津藩(付・俳句「会津落城」)		○	2001/2
20	追想 樋口一葉		○	2001/
21	冬銀河に思う/オーロラの俳句		○	2000/2002
22	佐藤木鶏氏と私の句への評について		○	2002/1
23	佐藤鬼房氏の私の句への評について		○	2002/3
24	飛鳥・イラン・松本清張—松本清張入学案内書		○	2002/
25	北のまほろばと司馬遼太郎 司馬遼太郎と日本という土地 —司馬遼太郎入学案内書—		○	2002/
26	芭蕉の歩いた仙台・石巻と山刀伐峠 —金子兜太氏の芭蕉忍者説雑感—		○	2003/
27	塩尻公明という私の先生について		○	2003/12
28	スパイ・ゾルゲの理想と現実		○	2004/
29	忠臣蔵雑感・初芝居・黯い海		○	1979/1982/ 2004
30	庄司りつこ氏の俳句小論		○	2004/
31	子はまぼろしのすみだ川—水原秋桜子追想—			2004/
32	塩尻先生の宗教・社会改革・社会主義論について		○	2005/1
33	江戸深川と芭蕉の文学		○	2006/
34	羽子板やわが舞了への藤娘 —庄司りつこさんの舞踊の句に思う—		○	2008/
35	20世紀社会主義は何だったのか(Ⅱ) —挫折の自分史をふりかえる—	ソルジェニツィンの文学とスターリンのラーゲリ(2007) 高杉一郎とスターリンの呪縛(2008) フルシチョフのスターリン批判をかえりみて(2008)	○	2007-2008
36	20世紀社会主義は何だったのか(Ⅰ) —挫折の自分史をふりかえる—	ロシア革命とレーニンの評価について(2009) 独裁者スターリンの二つの顔(2007-2009)	○	2007-2009
37	ピエロの無言劇 —庄司りつこさんの「仏蘭西の旅」の句に思う—		○	2009/
38	私の俳句論(1)(2)(3)			2009/